

琴平丘陵&羊山公園山行報告

【山行日】 2019年 4月 23(火) 晴れ
【集 合】 岩舟支所P AM 6:00
【費 用】 マイカー1台 : 2300円
【メンバー】 CL:鈴木ユ、大西、田村ヤ、福島
【コースタイム】岩舟支所 P6:00=道の駅「ちちぶ」
7:55/8:10~秩父駅 8:20/8:25+++影森駅 8:30/8:35
~大淵寺 8:50~岩井堂 9:30~399mP10:30~
羊山公園 10:50/11:30~道の駅「ちちぶ」12:10/12:20
=今井屋 12:50/13:30=肉の峰岸 13:50=
道の駅「はなぞの」14:10/14:30=岩舟支所 P16:00



琴平丘陵の新緑と羊山公園の芝桜、今井屋のソースカツ丼と3つ楽しめる山行を計画した。参加者が多数あるだろうと期待したが、4名での山行と少し淋しい山行になってしまった。



GWに数多く山行の予定があるので、皆さんそれまでは自粛しているのだろうと思った。岩舟支所を6時に出発したので通勤ラッシュに巻き込まれず、予定通り8時前に道の駅「ちちぶ」に着くことが出来た。準備を整えたら歩いて秩父駅まで行き、8:25分発の影森駅行きの電車に乗り込む。影森駅は2駅目で、わずか5分で着いてしまう。駅前でトイレを済ませ、ストレッチを済ませたら大淵寺に向かって出発する。駅前の車道を西に進み、影森バス停がある角を左

折し踏切を渡った先が大淵寺だ。

秩父札所二十七番大淵寺が登山口で、本堂にお参りしてから登山道に入る。本堂右手の斜面を登り、ほんのひと登りで護国観音が立つ尾根に出る。白い護国観音の西側に展望が開け、秩父市街地や両神山方面が望める。裏側をクサリで岩場を下り、露岩交じりの尾根道を進み、やがて鉄橋を渡ると岩井堂に突き当たる。京都の清水寺を思わせる舞台造りのお堂は、秩父札所二十六番円融寺の観音堂で、参拝して小休止する。岩壁がえぐれた中に建つお堂は、小ぶりだが立派で初めての二人も満足げに見入っていた。コースはお堂の左側から背後の岩上へ続き、青銅の大仏を眺めて進むと岩上に建つ秩父修験堂に着く。ここでコーヒブレイクとし、温かいコーヒーとバームクーヘンをいただく。ここからは長い鉄ハシゴで岩場を下り、新緑が心地よい雑木林の尾根を進み、わずかに登ると長者屋敷に着く。ここでコースは大きく曲がって北へ向かい、大山祇神、タンス岩展望台と



過ぎ、植林の鞍部を登り返すと398.8mの三角点ピークに着く。

杉林の中をジグザグに下り、山の神の前で沢道に出る。右に橋を渡り、林道に出た所が武甲山入口だ。ここまでくれば羊山公園は直ぐなので、ベンチに腰を下ろし大休止する。佐野名物の「しんこ



饅頭」やデコポンをいただき疲れた体を休める。ここからは自然林の中の平坦な道を歩き、やがて乗馬クラブの建屋を過ぎると羊山公園の入口に着く。早速入場券を買い園内に入ると、芝桜の花が見頃で大勢の観光客で賑わっていた。我々も園内を反時計回りに進んで、見事な芝桜の模様を楽しみながら歩いた。反対側の小高い所にベンチが並び、園内全体を見下ろせる場所で休憩し芝桜の景観を楽しんだ。すり鉢状の園地の底まで下りて、反対側に登り返し十分に楽しんだら公園を出て道の駅「ちちぶ」に向

かう。公園を出たら国道140号に向かい、国道を右折して10分くらい歩くと道の駅に着く。靴を履き替えたなら車に乗り、ソースカツ丼を食べに今井屋へ向かう。今井屋へ着くと店の中は満員だったが、いつものように裏の座敷に案内される。冷酒を2杯飲んでいる間にソースカツ丼が運ばれてきて、皆さん美味しと言いながら食べている。我輩も急いで冷酒を飲み干し、ソースカツ丼に食らいつく。いつ食べてもこのソースカツ丼は美味しい。お酒を飲んだ後でも、ドンドン箸が進み今日も完食した。



お腹が満たされたらお買い物で、肉の峰岸に向かう。皆さん寄居名物「豚肉の味噌漬け」やホルモンを買ってご満悦。さらに道の駅「はなぞの」で野菜やお花をゲットし帰路につく。帰りも渋滞は無く順調に走り、予定よりも早く岩舟支所に帰着した。